

タックスヘイブンを利用した多国籍企業の税逃れに規制を

2013.6.22 合田 寛

タックスヘイブンを利用した多国籍企業の税のがれに対して、世界の市民や労働者が立ち上がっています。多国籍企業や超富裕者の税逃れは、各国の財政をむしばんでいます。逃げた税収を埋め合わせるために、各国は勤労所得や消費税などへの増税で勤労者に大きな負担を求め、また社会保障や教育などの予算を削る緊縮政策を押し付けようとしています。また途上国が当然得るべき税収が奪われています。こうした政策に対して世界の市民の怒りが爆発しました。

「税の正義のための世界同盟（グローバル・アライアンス・フォア・タックス・ジャスティス）=GATJ」は、そうした目的を共有する世界の市民団体によって今年3月に設立されたもので、タックスヘイブンをなくし、公正な税制の実現などを求める運動体です。ここに掲げられている趣旨や目的は、当金融・労働研究ネットワークとして、もちろん支持できる内容なので、事務局の了解を得て、英語名（*Institute for Finance and Labor in Japan*）で賛同の署名をしました。

この呼びかけに応じて世界中から賛同の声が高まり、賛同団体はすでに 230 団体にのぼっています。北アイルランドのロックアーンで開かれた G8 サミットでも主要議題となり、多国籍企業の税逃れを規制する内容の宣言が 6 月 18 日に採択されました。これはこの運動の成果でもあります。この宣言の内容が簡単に実現するとは思えません。この宣言の内容を具体化するとともに、真に実効あるタックスヘイブン規制を実現するために、さらなる運動の強化が求められています。

GATJ のよびかけ

http://gatj.org/?page_id=16

署名簿

http://gatj.org/?page_id=18

G8 ロックアーン宣言

<https://www.gov.uk/government/publications/g8-lough-erne-declaration/g8-lough-erne-declaration-html-version>

G8 では上記のロックアーン宣言だけでなく“Prinnciple”が採択されていることがわかりました

<https://www.gov.uk/government/publications/g8-action-plan-principles-to-prevent-the-misus>

[e-of-companies-and-legal-arrangements/g8-action-plan-principles-to-prevent-the-misuse-of-companies-and-legal-arrangements](#)

またオバマ政権は G8 を受けて直ちに次のアクションプランを公表しています

<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2013/06/18/united-states-g-8-action-plan-transparency-company-ownership-and-control>

しかしウォールストリートジャーナルもいうように、アップルの税回避で問題となったアイルランドは素知らぬ顔をしているし

http://online.wsj.com/article/BT-CO-20130619-702854.html?mod=googlenews_wsj

これらを言葉だけでなく本当に実現させるには、アメリカの市民団体 CJT が言うように、各国における法制化など具体的な措置が必要です

http://www.ctj.org/taxjusticedigest/archive/2013/06/us_and_other_g8_governments_mo.php#.UcRdEz772Cg

以上現状と現時点での評価です

合田